

2015年5月25日

プレスリリース

関西ペイント株式会社  
関西ペイント販売株式会社

## 『快適生活提案塗料シリーズ』新製品発売開始のお知らせ

関西ペイント株式会社（本社：大阪市、石野 博社長）ならびに関西ペイント販売株式会社（本社：東京都、毛利訓士社長）は、昨春からの戸建新戦略『つながるペイント』の一環として、塗料・塗装に新たな付加価値を提案する『快適生活提案塗料シリーズ』の発売を開始しますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1) 虫除け塗料 : 「アレスムシヨケクリーン」

建築物内装塗装壁面およびビニールクロス面等へ塗装することで、虫が寄り付きにくくなる効果を2～3年に亘って発現する特殊水性コーティング材です（特許出願中）  
企業、各種施設向けの先行発売は6月下旬に開始いたしますが、当社として初の試みである家庭塗料を扱う(株)カンペハピオとの共同ブランドによる一般発売は上市準備が整い次第（6月下旬予定）改めてご案内申し上げます

#### 2) 窓用遮熱塗料 : 「アレスクールプラスウィンドウ」

建物外側からのローラー施工が可能で、可視光透過率80%以上を確保しながら紫外線と赤外線を50%以上遮断する窓ガラス用遮熱塗料です  
塗装には研修による技能習得が必要となりますので、当社戸建戦略『つながるペイント』の主旨にご賛同いただいた『リフォームサミット』参加店様限定商品として展開いたします  
発売は6月中旬。

#### 3) 漆喰塗料 : 「漆喰塗料アレスシックイ（次世代品）」

従来の漆喰塗料としての機能はそのままに、作業性・仕上がり性を大幅に向上させました。次世代品は本年2月より市場展開を開始しており好評をいただいております。

本件に関する問い合わせ先 : 関西ペイント販売株式会社  
建築塗料販売本部 営業部 笹川 昌嗣  
TEL : 03-5711-8904 FAX : 03-5711-8934



# アレスムシヨケクリーン



室内の塗装壁面やビニールクロス壁面に塗装することで、不快な虫が寄りにくくなります。



壁面に付いた汚れの除去が容易になります。



無色透明の艶消しタイプです。

ハケ、ローラーで簡単に塗ることができます。

## 主な適用部位

室内壁(各種塗装・ビニールクロス面)、  
集合住宅・戸建住宅のバルコニー壁面、  
軒天面、玄関廻りの壁面など



本品は、虫が本品塗装面へ止まる  
ことにより効果を発現します。

※不快な虫の寄りや侵入を全て防げるものではありません。  
※使用環境により効果持続性が異なります。





# アレスムシヨケクリーン

容量：1kg

## 標準塗装仕様

室内壁(各種塗装面・ビニールクロス面)、軒天面など

工程	塗料・処置	塗装回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	希釈率 (%)
1	素地調整	汚れ・付着物を除去し、被塗物を清浄な面とする。			
2	下塗り	1 ※	0.05~0.07	ローラー、ハケ	無希釈

※ビニールクロスは、吸い込みが少ない素材ですので、追っかけ塗装(乾燥前の塗装濡れ色中)で塗り重ね、標準塗付量を確保してください。

## 施工上の注意事項

- ①所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- ②使用前によく攪拌してください。
- ③本品を塗装すると艶が消え、塗装前の仕上がり感と変わる場合があります。
- ④コンクリート、モルタル面への直接塗装は行わないでください。
- ⑤光沢のある面への施工は可能ですが、ツヤムラが生じる場合があります。
- ⑥カブト虫・クワガタ虫のペット虫や、両生類・爬虫類などにも影響があります。  
尚、塗膜に接触しなければ支障はございません。
- ⑦金魚鉢や池などに本品を混入しないでください。
- ⑧本品は、ムシヨケ効果を呈するピレスロイド系薬剤を配合しています。
- ⑨本品は、殺虫剤とは異なりますので、不快な虫の発生程度により、十分な効果が得られない場合があります。
- ⑩本品は、防除用医薬部外品ではございません。
- ⑪アレシクワイ塗装面へは使用できません。
- ⑫太陽光が直射するような部位への施工はなるべく避けてください。(この場合、効果持続性は室内より劣ります。)

## ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。

詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

### ■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。  
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。  
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。  
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

### ■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。  
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、

医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

### ■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

### ■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

### ■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp

本 社	TEL (03) 5711-8904	FAX (03) 5711-8934	中 部	TEL (052) 262-0921	FAX (052) 262-0981
北海道	TEL (0133) 64-2424	FAX (0133) 64-5757	大 阪	TEL (06) 6203-5701	FAX (06) 6203-5603
東 北	TEL (022) 287-2721	FAX (022) 288-7073	中 国	TEL (082) 262-7101	FAX (082) 264-3285
北関東圏	TEL (028) 637-8200	FAX (028) 637-8223	四 国	TEL (0877) 24-5484	FAX (0877) 24-4950
東 京	TEL (03) 5711-8905	FAX (03) 5711-8935	九 州	TEL (092) 411-9901	FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

ご用命は



リフォームサミット店  
Supported by KANSAI PAINT



カンペリフォームサミット専用塗料

# ALES COOL +<sup>plus</sup> WINDOW

窓用遮熱塗料 アレスクールプラスウィンドウ

## アレスクールプラスウィンドウの特長

- 1 | 建物外側からローラーでの施工が可能**  
外壁塗装工事時のオプションとして提案が可能です。
- 2 | 日射赤外線を50%以上遮断**  
夏場の部屋の熱環境を改善できます。  
エアコンの消費電力を低減できます(省エネ効果)。
- 3 | 可視光透過率を80%以上確保**  
窓の視認性と明るさが損われません。
- 4 | 紫外線を50%以上遮断**  
肌と家具材を紫外線から保護します。
- 5 | 優れた耐久性**  
耐久性に優れるシラン系  
無機ポリマーを採用しています。



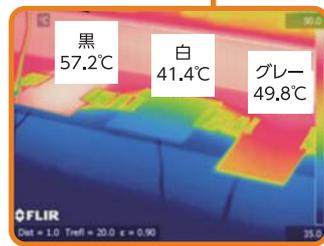
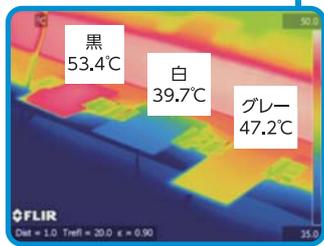
関西ペイント

# アレスクールプラスウィンドウ

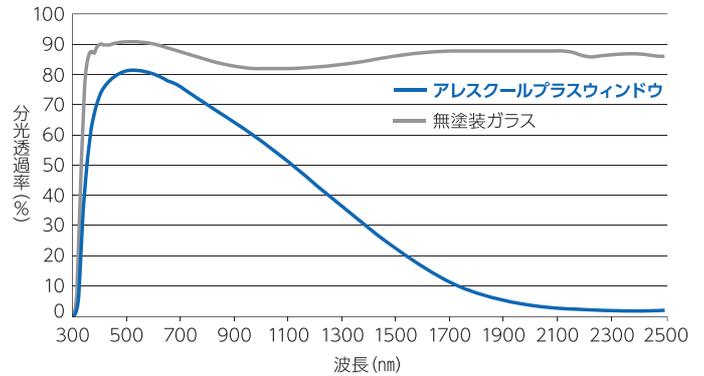
容量：0.5kg

## ■ 窓塗装後の遮熱効果の検証(サーモグラフ)

日射強度：699(W/m<sup>2</sup>) 室内温度：32.3℃



## ■ アレスクールプラスウィンドウの分光照射特性



紫外線遮断率 (300-380nm) 50%以上	可視光透過率 (380-780nm) 80%以上	赤外線遮断率 (780-2500nm) 50%以上
--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

	日射透過率 % 300-2500nm	日射反射率 % 300-2500nm	可視光透過率 % 380-780nm	紫外線透過率 % 300-380nm
アレスクール プラスウィンドウ	63.4	6.7	80.6	44.9
無塗装ガラス	86.4	5.5	90.5	71.5

## ■ 塗膜性能

項目	アレスクールプラスウィンドウ	試験方法
外観(色)	透明(薄いグレー色)	目視
密着性(2mm クロスカット)	○	JIS K 5600
鉛筆硬度	3H	JIS K 5600
耐薬品性	5%硫酸水溶液	○
	トルエン	○
	エタノール	○
耐冷熱繰り返し性	○	JIS K 5600
促進耐候性試験(QUV)	外観変化なし(2000時間)	JIS K 5600

## ■ 塗装仕様

工程	作業内容
1	下地処理 推奨研磨シートにて、霧状に散水しながら均一になるよう磨く。
	表面処理 清浄なモップで水拭きし、スキージーにて水を除去する。 (その他、施工要領書に基づいた施工をおこなう)
2	養生 養生テープ、ビニルマスキング等にてシーリング材、窓枠を養生。
3	塗装(上塗り) 推奨ローラーにてアレスクールプラスウィンドウを塗装。 塗分量:0.02~0.03kg/m <sup>2</sup>

※5℃以下、湿度70%以上の時は施工はおこなわないでください。  
 ※施工要領を参照の上施工をおこなってください。  
 ※塗装後、2時間程度で初期乾燥し、手で触ることが可能です。  
 ※塗装後、2週間程度、被塗面の清掃などはおこなわないでください。  
 ※施工前に、必ず施工要領書を確認してください。

**推奨ローラー**  
 ・モケットローラー  
 (好川産業株式会社)  
 ・ベルベットローラー  
 (大塚刷毛製造株式会社)

## ご使用上の注意事項

■ 下記の注意事項を守ってください。 ■ 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

### ■ 予防策

取り扱い作業中・乾燥中とともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。  
 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。  
 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・エリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。  
 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。  
 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。  
 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。  
 本来の目的以外に使用しないこと。  
 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。  
 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。  
 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。  
 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。  
 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

### ■ 対応

目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。  
 皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診

察を受けること。  
 吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。  
 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。  
 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。  
 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

### ■ 保管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。  
 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。  
 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

### ■ 廃棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を遵守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

### ■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
[www.kansai.co.jp](http://www.kansai.co.jp)

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934 中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981  
 北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757 大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603  
 東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073 中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285  
 北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223 四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950  
 東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935 九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

ご用命は

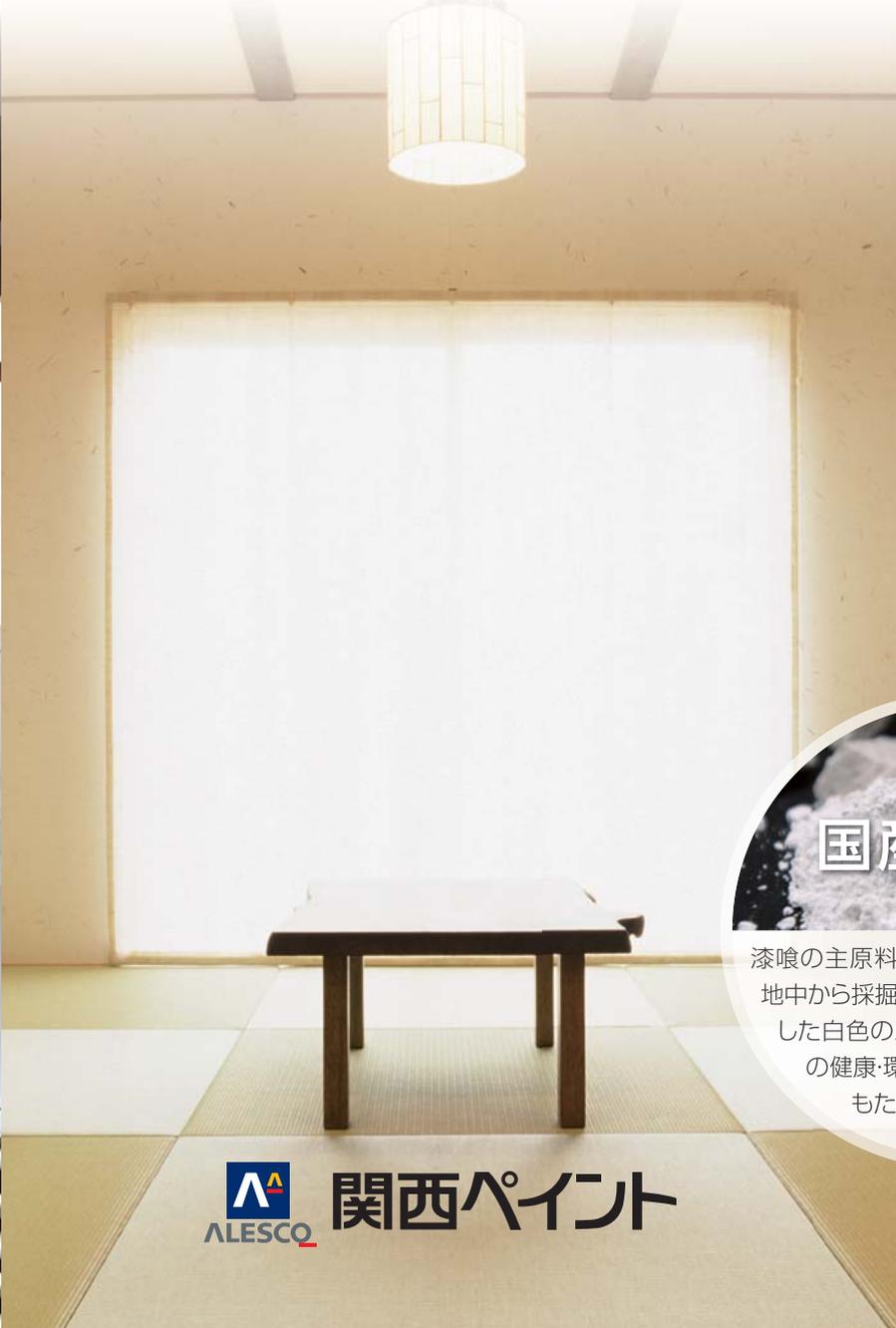
日本の伝統素材で「おもてなし」

喰  
漆  
塗  
料

内装用 消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI

アレスシッコイ



国産100%

漆喰の主原料は消石灰です。消石灰は、地中から採掘される石灰石を焼成・消化した白色のパウダーで、これが漆喰の健康・環境に貢献する機能をもたらしてくれます。

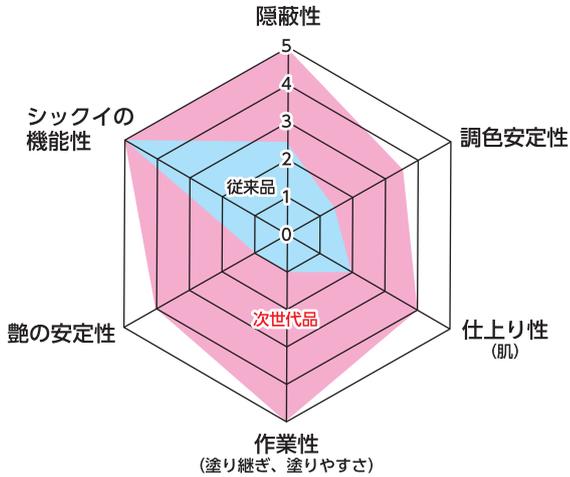


内装用 消石灰系仕上材  
ALESSHIKKUI  
アレシッコイ

# カンブリア宮殿でも紹介された アレシッコイが さらに使いやすくなりました！

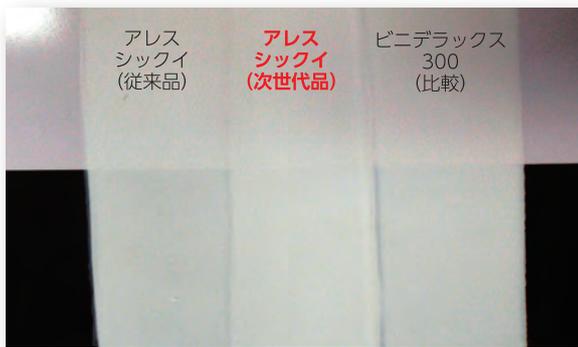


●次世代品はこんなによくなりました 従来機能は失わず、作業性・仕上がり性が大幅に向上！



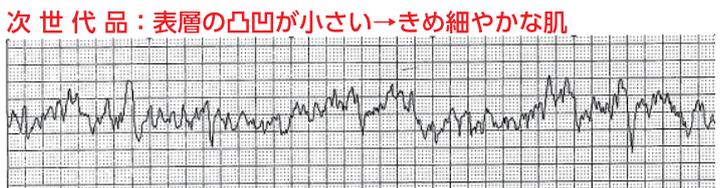
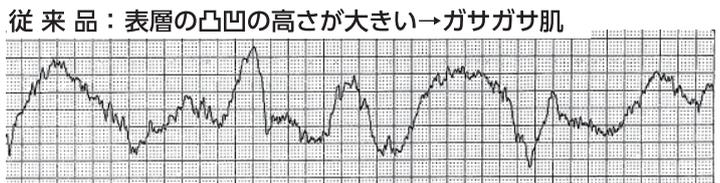
	従来品	次世代品
1 隠蔽性	弱い	EP並に向上
2 調色安定性	タッチアップができない	タッチアップができる
3 仕上り性	塗膜表面はガサガサ	きめ細やかな肌 (EPにちかい)
4 作業性	塗継ができない (棒塗り限定)	普通に塗れる
5 艶の安定性	高湿度環境下で艶がのぼる	艶ののぼりは限定的
6 機能性	抗ウイルス、抗菌等	従来品と同等

## 隠蔽性の向上



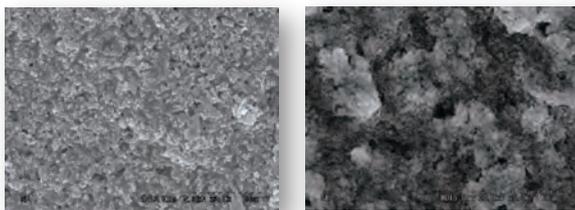
次世代品の隠蔽性に注目！一般EP並みです。

## 隠蔽性の向上 表面粗度の測定



## 次世代品、その仕組み

表層のSEM観察 (×3000)



一般EP

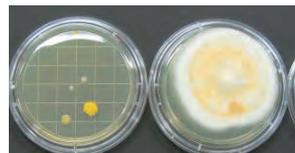
次世代品  
表層が粗く、多孔質である。

次世代品になっても多孔質であり、一般EPと全く異なるアルカリ性等の特性は変わっておりません

## カビの確認結果 (検証) 某美術館内壁

培養種：サブロー寒天培地 (23℃×5日培養) で培養した真菌の数

一般型  
エマルジョン塗装  
展示室 A  
(N=2 評価)



真菌数 7

アレシッコイ塗装  
展示室 B  
(N=2 評価)



真菌数 1

全体的に空調コントロールしているため菌は少ないが、アレシッコイ塗装面はより真菌数が少なく、菌が繁殖しづらい環境となっていることがわかります。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp

本社 TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934 中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981  
北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757 大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603  
東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073 中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285  
北関東信越 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223 四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950  
東京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935 九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもありますのでご了承ください。

ご用命は